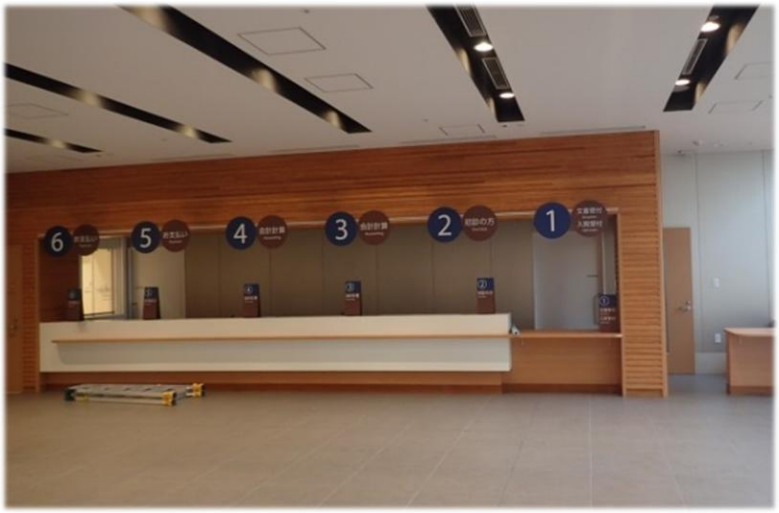
N － 1　県立十日町病院

所 在 地	新潟県十日町市高山
事業主体	新潟県
構　　造	プレキャスト・プレストレストコンクリート造
延床面積	8,016m2（第１工区のみ）
竣工年月	平成28年３月

木材利用量	4.77m3（内装木質化）
うち県産材	3.37m3
使用樹種	県産スギ等
設　　計	山下設計・ワシヅ設計 設計共同体
施　　工	熊谷・水倉・協和 特定共同企業体



◆施設の概要
　県立十日町病院は地域完結型医療を基本に医療提供体制を構築し、一般急性期から亜急性期までを一体として提供する病床を備えた、未来志向の地域中核病院のモデル病院である。

◆工法等の特徴
　エントランスホール周辺に県産材の越後杉ルーバーを用いることで、空間の連続性を強調している。

◆整備にあたり工夫したこと
　県産材の越後杉ルーバーを用いて、温かみや親しみのもてる空間となるよう配慮した。

N － 2　県立加茂病院

所 在 地	新潟県加茂市青海町
事業主体	新潟県
構　　造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
延床面積	13,883m2
竣工年月	令和元年９月

木材利用量	13.9m3
うち県産材	12.9m3
使用樹種	県産スギ、米マツ、タモ
設　　計	佐藤総合計画・基設計 設計共同体
施　　工	戸田・加賀田・小柳 特定共同企業体

写真１：多目的ホール

写真２：展望ラウンジ

◆施設の概要

県央医療圏における完結型医療体制の中で、高齢化が進む加茂・田上地域に密着した医療を提供し、一般急性期から亜急性期、終末期、長期療養までの病床を備えた、地域医療の最前線を担う二次医療機関として、「地域密着型病院」のモデルを目指し、改築された病院である。

◆工法等の特徴

多目的ホールの壁は、県産杉材とし、地域で伝統的に使われてきた下見板張りとした。また、展望ラウンジには県産杉材を圧縮し強化したフローリングを採用した。

◆整備にあたり工夫したこと

「北越の小京都」と呼ばれる加茂市の地域性を生かし、落ち着いた和の趣とし、多目的ホールや展望ラウンジの内装に県産杉材や漆喰塗を採用し、風土に馴染んだ温かみのある空間とした。

◆利用者の声

「展望ラウンジの床は、濃い深みのある色合いの木なので、落ち着きます。」
「多目的ホールの壁は、どこか懐かしくて、親しみを感じます。」と評判は上々である。

Ｎ － ３　社会福祉法人恩賜財団済生会新潟県央基幹病院

所 在 地	新潟県三条市上須頃5001番地1
事業主体	新潟県
構　　造	鉄骨鉄筋コンクリート造
延床面積	45,353m²
竣工年月	令和５年12月

木材利用量	10.26㎥
うち県産材	10.26㎥
使用樹種	県産スギ
活用事業	－
設　　計	佐藤総合計画・基設計 設計共同体
施　　工	清水・新発田・栗田特定共同企業体

外観

1-2階エスカレーター

◆施設の概要

これまで県央医療圏では、約8,000件の救急搬送のうち約25%が医療圏域外へ搬送されていたことや中小規模の病院が多数存立していたことに伴う医師の分散、常勤医の減少、医療ニーズの変化（高齢者医療への対応）が課題となっていた。「県央地域の患者は県央で診る」をモットーに救急医療や高度・専門的な手術、質の高い医療を提供するため地域で高度な医療を支える柱となる病院として当該施設を整備した。

◆県産材・県産品利用について

多くの利用者の目に触れるエスカレーターホール壁面、講堂壁面及び講堂天井面に県産杉材の羽板で制作したルーバーを照明と組み合わせて設置することで、印象的なデザインとした。

◆整備にあたり工夫したこと

杉の風合いを活かした柔らかな印象を与えるデザインとすることで、穏やかで快適な空間を構成し、病院に対する親しみを惹起することを意図した。

Ｏ－１　新潟県少年自然の家　野外活動支援棟

所 在 地	新潟県胎内市乙
事業主体	新潟県
構　　造	木造２階建て
延床面積	377m2
竣工年月	平成30年３月

木材利用量	151.7m3
うち県産材	126m3
使用樹種	県産スギ、米マツ
活用事業	Ｈ28 森林整備加速化・林業再生事業
設　　計	㈲石動建築設計事務所
施　　工	㈱小野組

◆施設の概要

新潟県少年自然の家は、美しいあかまつの林に囲まれた大自然の中にあり、家庭や学校では得難い体験活動を通して、心身ともに健全な子供たちの育成を目指す青少年教育施設である。そのうち、野外活動支援棟は、児童や生徒が荒天時や冬期間において、野外活動の類似体験等を実施する施設である。

◆工法等の特徴

本施設は、県産杉材を原料としたCLTパネル工法を採用しており、外部、内部共にCLTパネル現し仕上げとしCLTをアピールしている。

CLTパネルの製作にあたっては、県内でパネルを製作できる工場がないため、県産杉材のラミナを県内で製作し、パネルサイズ、接着剤の条件から鹿児島県の工場でCLTパネルを製作した。

※CLTパネル：丸太から切り出した厚さ3cm×幅10cm程度の挽き板（ラミナ）を水平・垂直方向に3層以上積層接着した木質建材

◆整備にあたり工夫したこと

CLTパネルは工場製作によりパネルの精度が担保されるため、現場で施工する基礎の精度管理に留意する必要があった。現場では、CLT壁と基礎を緊結するアンカーボルトを補助アングル材などを用いて確実に固定するとともに、基礎天端に無収縮モルタルを施し、CLT下端のフラットバーとの密着を図った。

◆利用者の声

「木のぬくもりが感じられて良い」と好評である。

Ｏ－２　海洋高等学校寄宿舎

所 在 地	新潟県糸魚川市大字能生
事業主体	新潟県
構　　造	木造２階建て
延床面積	334m2
竣工年度	平成30年度

木材利用量	52.3m3
うち県産材	52.3m3
使用樹種	県産スギ
設　　計	㈱西野設計事務所
施　　工	㈱笠原建設

◆施設の概要

海洋高等学校の生徒募集人員が増加したことにより、不足する寄宿舎の増築を行った。

当該寄宿舎は、屋根に県産瓦を使用した木造建築で、周囲の景観に調和し、生徒が日常生活を送る上でリラックスできるよう配慮した。

◆工法等の特徴

県産材を使用した木造建築であることをアピールするため、外装仕上げ材に県産杉材を使用し、既存の木造寄宿舎や周囲の自然と調和するような外観とした。

◆整備にあたり工夫したこと

寄宿舎は、塩害の影響が大きい海沿いに立地しており、潮風を直接受ける外壁に杉材を採用した。

Ｏ－３　新潟県少年自然の家

所 在 地	新潟県胎内市乙
事業主体	新潟県
構　　造	木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造　２階建て
延床面積	6,341.2m2
竣工年月	平成31年２月

木材利用量	965m3
うち県産材	371m3
使用樹種	県産スギ、米マツ等
活用事業	Ｈ29森林・林業再生基盤づくり交付金
設　　計	㈲石動建築設計事務所
施　　工	福田・小野特定共同企業体、㈱小野組、新発田建設㈱

◆施設の概要

新潟県少年自然の家は、美しいあかまつの林に囲まれた大自然の中にあり、家庭や学校では得難い体験活動を通して、心身ともに健全な子供たちの育成を目指す青少年教育施設である。本施設は、管理棟、宿泊棟、食堂棟、浴室棟、体育館棟、多目的ホール棟から構成されており、その機能に応じた構造を選択している。

◆工法等の特徴

本施設は、大空間が必要な体育館棟などは鉄骨造、水を扱う厨房や浴室は鉄筋コンクリート造（以下、RC造）としたほか、県産木材の需要拡大を促進するため、宿泊棟は県産杉材を用いたCLTパネル及び集成材を、管理棟は大断面集成材を採用した木造としている。

◆整備にあたり工夫したこと

宿泊棟のCLTパネルは、2階床、屋根、壁に採用している。床系パネル（床・屋根）は内装制限等に制約があるため現し仕上げにできないが、壁パネルは極力、現し仕上げとし県産木材をアピールしている。また、施設全体として耐火種別が準耐火建築物となるが、中でも食堂棟と管理棟は、柱・梁に燃え代35mmを考慮した設計とし、木のぬくもりが感じられる仕上げとしている。

◆利用者の声

「木のぬくもりが感じられて良い」と好評である。

Ｐ－１　柏崎工業高等学校格技場

所 在 地	新潟県柏崎市
事業主体	新潟県
構　　造	鉄骨造平屋建て
延床面積	430m2
竣工年月	平成27年１月

木材利用量	60.4m3
うち県産材	36.2m3
使用樹種	県産スギ
設　　計	チーム･テラ有限責任事業組合
施　　工	㈱中越興業

◆施設の概要

高校の格技場という施設の特質、海岸に近く塩害を考慮しなければならないという立地条件から、耐久性、都市景観、環境問題を考慮し、外壁に越後杉ブランド材を採用した。それにより地域の環境に調和した木のぬくもりのある施設となっている。

◆工法等の特徴

主体構造は鉄骨造であるが、屋根の母屋、垂木、野地板、外壁の間柱、胴縁、外装を木造としたことにより内外装共に木質材料がふんだんにあらわれている。

◆整備にあたり工夫したこと

メンテナンスを考慮し、伝統的な自然素材である外装の杉材、屋根の瓦を採用することにより、いずれも部分補修を可能とした。

◆利用者の声

「壁に取り付けてある木のロッカーがとても機能的で使いやすく、また、木のぬくもりが感じられるすばらしい格技場だと思います。」

Ｐ－２　県立高田商業高等学校図書館棟

所 在 地	新潟県上越市大字中田原
事業主体	新潟県
構　　造	木造平屋建て
延床面積	186m2
竣工年度	令和元年度

木材利用量	68.8m3
うち県産材	34.3m3
使用樹種	県産スギ等
施　　工	田中産業㈱

◆施設の概要

既存施設の耐震改修工事が技術的に困難であったため、図書館棟の改築工事を行った。既存図書館棟は非木造であったが、法律上の課題を比較的簡易な方法でクリアできることと、新潟県の「公共建築物等における県産材利用推進に関する基本方針」により木造化を選択した。

◆県産材・県産品利用について

外壁及び内部腰壁の羽目板張り、家具等に県産木材、屋根の一部には安田瓦を使用し、生徒が日常生活を送る中で、自然と県産材に触れることが出来るように配慮した。

◆整備にあたり工夫したこと

内部腰壁の羽目板張りのほか、梁や柱の一部を現しとすることで、木目を生かした温かみのある空間を創出している。

また、屋根の形状を招き屋根とし、自然光を確保出来るように窓を設置しているが、用途上、書架の劣化への恐れもあることから、直接採光が当たりすぎないように配慮している。

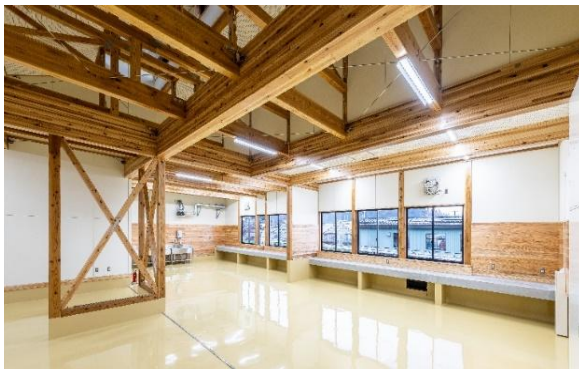
その他、整備に際して、受注者からの提案により、MR技術を用いて、実寸での建物の再現を行っている。学校教諭等にそれを体験してもらうことで、家具配置等の検討に繋がっている。

Ｐ－３　県立加茂農林高等学校　特別教室棟

所 在 地	新潟県加茂市神明町２丁目
事業主体	新潟県
構　　造	木造２階建て
延床面積	658m2
竣工年月	令和３年４月

木材利用量	189.8m3
うち県産材	159.4m3
使用樹種	県産スギ等
施　　工	小柳建設㈱

北側外観



１階　農機具整備実習室

２階　階段ホール

◆施設の概要

農業機械の使用方法や農機具の整備、動物科学に関する学習を行う施設として整備され、従前の機能に加えてエアシャワーや無線通信設備などが新たに導入されている。

建て替え前の特別教室棟において耐震診断を行ったところ、著しい不同沈下が確認され、耐震補強を行う場合、建屋の補強に加えて基礎補強及び杭の増設が必要となり、耐震補強と比較して費用が下回る建て替えを行うこととなった。

◆県産材・県産品利用について（県産材の使用箇所などについて）

建築物の構造を木造とし、構造材、外壁材、内壁材、家具等に県産木材を使用し、屋根に安田瓦を使用するなど、県産材を多く取り入れた。

◆整備にあたり工夫したこと（県産材を用いた施設整備にあたり工夫したことなど）

小屋組の現しや吹抜、ハイサイドライトの採用により、開放的で明るい雰囲気と木のぬくもりを感じられるようにし、内壁において県産木材としっくい塗りを併用することで、より親しみやすい施設としている。

また、当学校の生徒による木材工場や施工現場の見学会を通して、授業の理解を深めてもらうことができた。

Ｐ－４　県立新潟よつば学園

所 在 地	新潟県新潟市東区竹尾２-２-１
事業主体	新潟県
構　　造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造２階建て
延床面積	10,821m2
竣工年月	令和３年８月

木材利用量	86.6m3
うち県産材	12.6m3（内装）
使用樹種	県産スギ等
施　　工	加賀田・本間・丸運特定共同企業体 新潟藤田・小川特定共同企業体

吹き抜け　壁仕上げ材

普通教室　壁仕上げ材

◆施設の概要

新潟盲学校、新潟聾学校の生徒減少、施設の老朽化等を背景に、両校を統合し、複数障害に対応した施設、設備を備えた学校として新潟よつば学園が建設された。

学校名の「よつば」は、対象としている視覚、聴覚、知的の三つの障害に加え、学校を支えてくれる地域や保護者を四枚の葉になぞらえて名付けられたもの。

◆県産材・県産品利用について

施設中央部や寄宿舎棟の共用部分、普通教室の壁など、生徒の目につきやすい壁仕上げに県産材を使用し、落ち着いた温かみのある室内空間を創った。

◆整備にあたり工夫したこと

法律の規制等により木材を使用できる範囲が限られている中で、できるだけ多くの生徒が木のぬくもりを感じられるよう、普通教室等の壁仕上げ材で県産材を使用した。

Ｐ－５　五泉特別支援学校村松分校玄関棟

所 在 地	新潟県五泉市村松
事業主体	五泉市
構　　造	木造１建て
延床面積	60m2
竣工年月	令和4年５月

木材利用量	20.8m3
うち県産材	15.9m3
使用樹種	県産スギ等
活用事業	-
設　　計	塚野建築設計事務所
施　　工	小柳建設㈱

玄関正面

玄関横面

◆施設の概要

五泉特別支援学校の児童生徒数の増加により狭隘化が続き、教室不足が常態化していたことから、高等部を分離し村松高校の一部を改修して分校を開校したもの。既存の玄関から特別支援棟まで距離が長くなることから、特別支援棟の近くに玄関を新設することになった。

◆県産材・県産品利用について

玄関棟という小規模な建物の増築であったことから、木造を採用し、可能な範囲で県産材を使用した。

◆整備にあたり工夫したこと

建物正面部分のルーバー※1並びに構造体の柱等に県産スギを使用するとともに、屋根勾配を緩くすることで景観に配慮した。

※1ルーバー（細長い板を隙間をあけて平行に並べたもの）

Ｐ－６	柏崎市立東中学校

所 在 地	新潟県柏崎市大字下田尻
事業主体	柏崎市
構　　造	鉄筋コンクリート造３階建て
延床面積	7870.21m2
竣工年月	令和５年２月

木材利用量	161.9m3
うち県産材	51.2m3
使用樹種	県産スギ等
活用事業	公立学校施設整備費国庫負担金 学校施設環境改善交付金
設　　計	㈱ＳＤ建築研究所
施　　工	植木・阿部・東北特定共同企業体

◆施設の概要

４０年以上が経過した校舎・屋内体育館を改築し、安心・安全で快適な教育環境とするだけでなく、ユニバーサルデザインに配慮し、再生可能エネルギーを活用する太陽光発電設備や地中熱利用設備を備え、地域の防災拠点の役割を担う施設としても柔軟に対応できる学校として整備した。

◆県産材・県産品利用について

利用頻度が高い教室の腰板や、学校施設開放事業等で市民が利用する体育館アリーナの内装に県産無垢材を用いることで温かみを持たせ、木の香る空間とした。

◆整備にあたり工夫したこと

建物の構造は鉄筋コンクリート造であるが、生徒や利用者に木の温もりを実感してもらえるよう、利用者の視線や触れやすい部分を中心に木質化した。

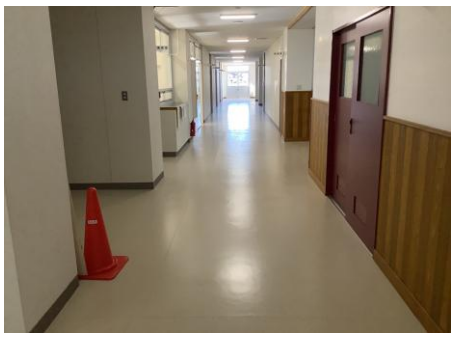
Ｐ－７　新潟北高校管理普通教室棟

所 在 地	新潟県新潟市東区本所
事業主体	新潟県
構　　造	鉄筋コンクリート造　４階建
延床面積	4355.00㎡
竣工年月	令和５年12月13日

木材利用量	2.67㎥
うち県産材	2.57㎥
使用樹種	県産スギ等
活用事業	－
設　　計	株式会社櫛井設計
施　　工	株式会社本間組（一期） 株式会社加賀田組（二期）

外観

職員玄関腰壁


職員玄関～昇降口廊下腰壁

昇降口腰壁

教室腰壁

◆施設の概要
　昭和58年建築の管理普通教室棟について、令和4・5年度に大規模改修工事を行った。（改修設計は令和2年。）

◆県産材・県産品利用について
　県立学校大規模改修工事の改修方針により、生徒昇降口、隣接する職員玄関と普通教室の腰壁を県産杉羽目板張りとした。

◆整備にあたり工夫したこと
　県立学校大規模改修工事は夏休みを利用した、短い工期の中で行われるため、工期が確保できない場合、施工できない学校もある。今回工事については、学校の協力もあり内部工期を確保することができ、木目の美しさと、ぬくもりを感じられる空間に整備することができた。

Ｐ－８　有恒高校普通教室棟

所 在 地	上越市板倉区
事業主体	新潟県
構　　造	鉄筋コンクリート造４階建
延床面積	－
竣工年月	令和６年12月２日

木材利用量	3.49㎥
うち県産材	1.72㎥
使用樹種	県産スギ等
活用事業	－
設　　計	パル設計有限会社
施　　工	久保田建設株式会社

普通教室棟 普通教室

特別教室棟 保健室

◆施設の概要
昭和60年建築の普通教室棟（特別教室棟、昇降口棟、渡り廊下棟の一部を含む）について、令和７年度の上越特別支援学校有恒学舎開設に伴い、令和６年度に大規模改修工事を行った。（改修設計は令和５年。）

◆県産材・県産品利用について
県立学校大規模改修工事の改修方針により、普通教室、保健室の壁を県産杉羽目板張りとした。

◆整備にあたり工夫したこと
県立学校大規模改修工事では、生徒が日常生活を送る中で県産材に触れることが出来るよう内装材等に利用しているが、工事は夏休みを利用した短い期間で行われるため、工期が確保できない場合、施工できない学校もある。今回工事では、学校と調整し内部工期を確保できたため、木目の美しさと、ぬくもりを感じられる空間に整備することができた。

Ｐ－９　長岡向陵高校管理普通教室棟

所 在 地	新潟県長岡市喜多町
事業主体	新潟県
構　　造	鉄筋コンクリート造４階建
延床面積	－
竣工年月	令和７年12月

木材利用量	0.2㎥
うち県産材	0.2㎥
使用樹種	県産スギ等
活用事業	－
設　　計	㈱白井建築設計事務所
施　　工	㈱多田組

保健室　腰壁・巾木①

保健室　腰壁・巾木②

◆施設の概要

昭和58年建築の管理普通教室棟について、令和6・7年度と2か年にわたり大規模改修工事を行った（改修設計は令和5年度実施）。保健室は令和7年度（二期工事）にて実施。

◆県産材・県産品利用について

県立学校大規模改修工事の改修方針により、保健室の腰壁・巾木に県産スギ材を利用した。

◆整備にあたり工夫したこと

県立学校大規模改修工事では、生徒が日常生活を送る中で県産材に触れることができるよう内装材等に利用しているが、工事は夏休みを利用した短い期間で行われるため、工期が不足し、施工できない学校もあるが、今回工事では、学校と調整し内部工期を確保できたため、木目の美しさと、ぬくもりを感じられる空間を整備することができた。

Q－１　南魚沼市図書館

所 在 地	新潟県南魚沼市六日町
事業主体	南魚沼市
構　　造	鉄骨造陸屋根２階建て
延床面積	2,500m2
竣工年度	平成26年度

木材利用量	85.5m3
うち県産材	80m3（ルーバー、書架、ベンチ）
使用樹種	県産スギ
設　　計	㈲平澤設計
施　　工	伊米ヶ崎・井口・宮仲特定共同企業体

◆施設の概要

平成16年11月に旧大和町と旧六日町が合併し、その後、平成17年10月に旧塩沢町が加わり現在の南魚沼市となった。従前の図書館は他の市町村と比較して、人口規模の割に面積、蔵書ともに乏しく、充実した図書館の整備が望まれていた。学び、育て、情報提供や安らぎの場として、より多くの人が利用できるように、市内の交通拠点である六日町駅前に移転した。

◆工法等の特徴

当図書館のシンボル的な存在である根曲りベンチは、八海山麓で伐採した根曲りスギを半割にしたものを利用している。越後杉集成材を主に使用した書架は、本を探している人がいても通行できるように間隔を広くとり、高さも1．5mに設定している。このため館内は開放感のある造りになっている。また外装や内装にふんだんにスギルーバーを用いており、鉄骨造施設であるものの、木のぬくもりを感じられる施設となっている。

◆整備にあたり工夫したこと

木材の調達にあたっては出来るだけ市産材を使うように計画した。集成材やルーバーの原料についても市内で丸太を調達し製材して使用している。

また、当図書館は、格子状の柱が点在する既存の建物を改修したもので、柱が通行の支障にならないように書架を曲線的に配置している。その際、製作コストを削減するため、天板のみを曲線で作製し、全体が曲線に見えるように工夫している。

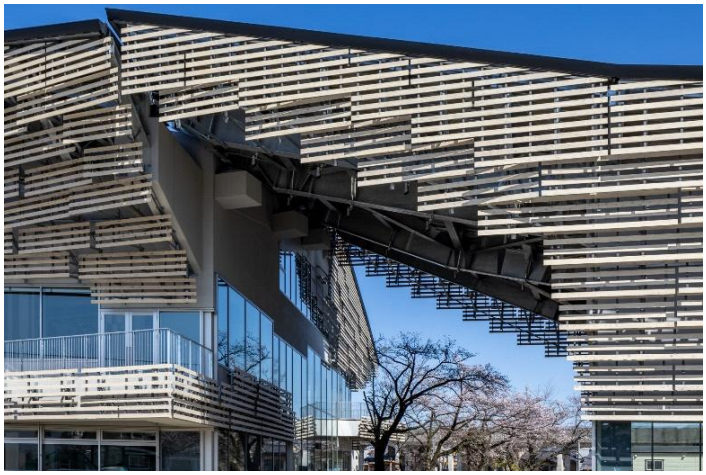
◆利用者の声

「木の柔らかな肌触りと温もりを感じ、木の香りが心を癒してくれる」など大変好評である。一方で、「無垢の杉材のため柔らかすぎて傷が心配」といった声も寄せられている。

Ｑ－２　三条市図書館等複合施設まちやま

所 在 地	新潟県三条市元町11番６号
事業主体	三条市
構　　造	［本　館］鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造３階建 ［ホール］鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造平屋建
延床面積	［本　館］ 4,388.9m2 ［ホール］　 723.8m2
竣工年月	令和４年２月

木材利用量		61.1m3
うち県産材		18.4m3（内装）
使用樹種		村上市産スギ
設　　計		㈱隈研吾建築都市設計事務所
施工	本館	福田・桑原・長谷川興産特定共同企業体
	ホール	加賀田・米山特定共同企業体他



建物外装に使用されている村上市産の杉

建物内装や書架にも多くの木材を使用

◆施設の概要

「まちやま」は、図書館・鍛冶ミュージアム・科学教育センターの3つの機能を備えた複合施設であり、まちなか交流広場と一体的に整備したものである。「まちやま」を構成するそれぞれの機能が有機的に結び付き、新たな「学び」や「交流」が生まれ、それが三条鍛冶道場や体育文化会館などまちなかの結節点に波及することによって、多くの人がまちを行き交い、多彩な市民活動が育まれることが期待される。

基本設計及び実施設計業務は、アオーレ長岡や新国立競技場を手掛けた隈研吾建築都市設計事務所が担当したことでも大きな注目を集めている。

◆県産材・県産品利用について

建物内外装や書架、受付カウンターには木材が多く使用されており、建物外装は村上市産の杉が使用されている。

◆整備にあたり工夫したこと

建物全体として、隈研吾建築都市設計事務所の特徴である木材を多く使用した意匠であり、その中に、三条市の特徴である「ものづくり」の要素として金属も多く使用されている。木材と金属を中心とした意匠は、建物内外装や書架、受付カウンター、サインにも表現されており、また、１階の鍛冶ミュージアムでは、天井がむき出し、床面はコンクリート仕上げとなっており、図書館スペースとは一味違った「工場の荒々しさ」が表現されている。

R－1　五泉警察署川東駐在所

所 在 地	新潟県五泉市
事業主体	警察共済組合
構　　造	木造平屋建て
延床面積	97.71m2
竣工年月	平成27年11月

木材利用量	17.7m3
うち県産材	15.4m3
使用樹種	県産スギ、米マツ
設　　計	波多野設計
施　　工	コスモ建設㈱

◆施設の概要

五泉市の老朽化した馬下地区と猿和田地区の2つの駐在所を、概ね中心に位置する川東地区に駐在所を新設し、地域の安心、安全のために利用できること、また居住者が快適な生活空間を確保できることを目的として配慮した施設。

◆工法等の特徴

木造在来軸組構法とし、構造材には一般的に流通する県産材を主に使用している。内装材には事務室の腰壁に県産材の壁材を使用した。

◆整備にあたり工夫したこと

周囲に溶け込むよう一般的な住宅として設計し、柱及び下地材にできる限り県産材を採用して利用率の向上に努めている。

R－2　与板警察署大河津駐在所

所 在 地	新潟県長岡市
事業主体	警察共済組合
構　　造	木造２階建て
延床面積	86.95m2
竣工年月	平成27年10月

木材利用量	18.3m3
うち県産材	10.3m3
使用樹種	県産スギ、米マツ
設　　計	㈱長建設計事務所
施　　工	秀和建設㈱

◆施設の概要

大河津地区を所管する駐在所を老朽化に伴い改築し、地域の安心、安全のために利用できること、また居住者が快適な生活空間を確保できることを目的として配慮した施設。

◆工法等の特徴

木造在来軸組構法とし、構造材には一般的に流通する県産材を主に使用している。内装材には事務室の腰壁に県産材の壁材を使用した。

◆整備にあたり工夫したこと

敷地が狭隘であったことから、木造の二階建てとし柱及び下地材にできる限り県産材を採用して利用率の向上に努めている。

R－3　南魚沼警察署湯沢交番

所 在 地	新潟県南魚沼郡湯沢町
事業主体	新潟県
構　　造	木造２階建て
延床面積	83.2m2
竣工年度	令和元年度

木材利用量	16.9m3
うち県産材	8.4m3
使用樹種	県産スギ、米マツ
設　　計	㈱大雅建築設計事務所
施　　工	阿部建設工業㈱

◆施設の概要

湯沢町を所管する交番を老朽化に伴い改築し、地域の安心、安全のために快適に利用できる空間を確保することを目的として配慮した施設となっている。

◆工法等の特徴

構造材に県産材を使用した木造在来軸組構法とし、内装材の一部には県産材の壁材を使用している。

◆整備にあたり工夫したこと

湯沢町が豪雪地であることから、屋根に積もった雪を自然に落下するよう配慮し、柱及び下地材にできる限り県産材を採用することで利用率向上に努めている。

◆利用者の声

「木のぬくもりが感じられ、落ち着ける」と好評である。

R－4　新潟東警察署秋葉交番

所 在 地	新潟県新潟市東区秋葉通
事業主体	新潟県
構　　造	木造３階建て
延床面積	82m2
竣工年月	令和２年12月

木材利用量	19.9m3
うち県産材	18.4m3
使用樹種	阿賀町産スギ等
施　　工	㈱カタプロ建設

外観全景

建物内部（相談スペース）

◆施設の概要

新潟市東区の北西部に位置し、旧交番の老朽化に伴い、地域の安全、安心の拠点として利用することを目的として建設された。

◆県産材・県産品利用について

建物の構造材にできるだけ県産材を使用し、内装材では、相談スペースの腰壁に県産スギ材を使用することで、ぬくもりと暖かさを感じる作りとした。

◆整備にあたり工夫したこと

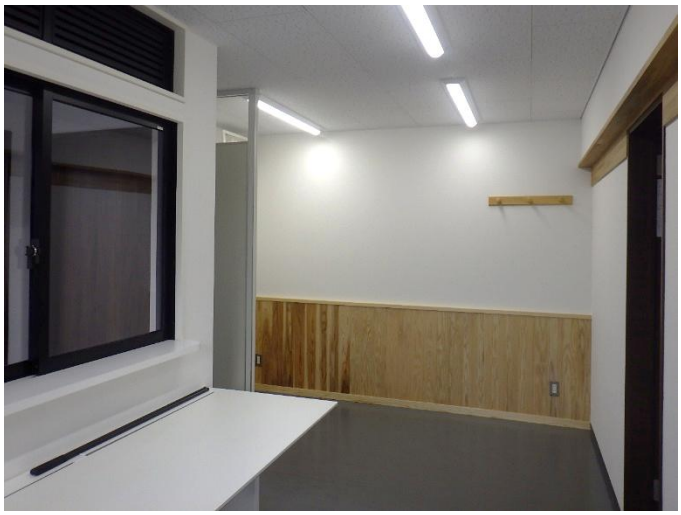
敷地が狭隘の中、木造の3階建てとし、県産木材を可能な限り使用することで、地域住民から親しみやすい施設としている。

R－5	上越警察署安塚交番

所 在 地	新潟県上越市安塚区安塚
事業主体	新潟県
構　　造	鉄筋コンクリート造、木造２階建て
延床面積	160m2
竣工年月	令和２年12月

木材利用量	21m3
うち県産材	15.1m3
使用樹種	関川村産スギ等
施　　工	阿部建設工業㈱

外観全景



建物内部（相談スペース）

◆施設の概要

上越市安塚区の中心に位置し、旧交番の老朽化に伴い、地域の安全、安心の拠点として利用することを目的して建設された。

◆県産材・県産品利用について

建物の構造材にできるだけ県産材を使用し、内装材では、相談スペースの腰壁に県産スギ材を使用することで、ぬくもりと暖かさを感じる作りとした。

◆整備にあたり工夫したこと

県内有数の豪雪地であることから、建物の構造に配慮しつつ、県産木材を可能な限り使用することで、地域住民から親しみやすい施設としている。

R－6　佐渡警察署佐和田交番

所 在 地	新潟県佐渡市中原
事業主体	新潟県
構　　造	木造２階建て
延床面積	83m2
竣工年月	令和３年11月

木材利用量	20m3
うち県産材	13.5m3（構造、内装）
使用樹種	県産スギ
施　　工	遠藤建設㈱

建物の外観

事務室入口の状況

◆施設の概要

佐渡市（旧佐和田町）の国仲に位置し、建物の老朽化に伴い改築し、地域の安心、安全のために快適に利用できる空間を確保することを目的とした施設となっている。

◆県産材・県産品利用について

構造材に県産材を使用した木造在来軸組構法とし、内装材の一部には県産材の壁材を使用している。

◆整備にあたり工夫したこと

来庁者が快適に利用できるよう、また、勤務員が安全に利用できるように配慮した施設づくりとなっている。

R－7　新潟南警察署白根中央交番

所 在 地	新潟市南区白根地内
事業主体	新潟県
構　　造	木造
延床面積	82.76㎡
竣工年月	令和4年12月

木材利用量	15.87㎥
うち県産材	11.75㎥
使用樹種	県産杉材
設　　計	㈱コンフォルト
施　　工	㈱大栄

建物外観

内装材の利用状況

◆施設の概要

新潟市南区の中心部に位置し、南区に初の交番を整備し、地域の安全、安心の拠点として利用することを目的として建設された。

◆県産材・県産品利用について

建物の主要な構造部材にできるだけ利用し、交番入り口の腰壁に県産杉材の内装材を利用した。

◆整備にあたり工夫したこと

木造の2階建てとして、できるだけ多くの木材を利用し、柱及び下地材に県産材を活用している。

R－8　上越警察署牧駐在所

所 在 地	上越市牧区柳島地内
事業主体	新潟県
構　　造	鉄筋コンクリート造一部木造
延床面積	143.86㎡
竣工年月	令和5年1月

木材利用量	16.55㎥
うち県産材	10.80㎥
使用樹種	県産杉材
設　　計	㈱阿部設計事務所
施　　工	阿部建設工業㈱

建物外観

構造材利用状況

◆施設の概要

上越市牧区（旧牧村）の中心部に位置し、旧駐在所の老朽化により建て替え整備し、地域の安全、安心の拠点として利用することを目的として建設された。

◆県産材・県産品利用について

建物の主要な構造部材にできるだけ利用し、駐在所入口の腰壁に県産杉材の内装材を利用した。

◆整備にあたり工夫したこと

県内有数の豪雪地であることから、建物の耐雪性能に配慮した構造としつつ、できるだけ多くの木材を利用し、柱及び下地材に県産材を活用している。

R－9　見附警察署新町交番

所 在 地	見附市
事業主体	新潟県
構　　造	木造
延床面積	82.76㎡
竣工年月	令和5年11月

木材利用量	17.30㎥
うち県産材	12.48㎥
使用樹種	杉（新潟県内産材）
活用事業	－
設　　計	株式会社　ワシヅ設計
施　　工	株式会社　白井工業所

外観

内装材（腰壁）

◆施設の概要

見附市街地に位置し、既施設の老朽化に伴い、移転新築した。
地域の安心、安全のため、快適に利用できる空間を確保することを目的とした施設となっている。

◆県産材・県産品利用について

柱、梁などの構造部材に県産材を使用した木造在来軸組工法を採用し、内装材の一部に県産材の壁材を使用している。

◆整備にあたり工夫したこと

来庁者が快適に利用できるスペースの確保及び勤務員が安全に勤務できるよう配慮した施設づくりとなっている。

R－10　新潟東警察署越後石山駅前交番

所 在 地	新潟市東区
事業主体	新潟県
構　　造	木造
延床面積	８３㎡
竣工年月	令和７年３月

木材利用量	１８．１m3
うち県産材	１３．４m3
使用樹種	県産スギ（阿賀野市産）
活用事業	－
設　　計	番匠建築設計工房
施　　工	新潟プレハブ工業株式会社

◆施設の概要

JR越後石山駅前の整備に伴い、新たに設置した交番で、地域の安心、安全の拠点として利用できること目的とし、快適な勤務環境を確保できるよう配慮した施設。

◆県産材・県産品利用について

木造在来軸組工法とし、構造材には一般流通材の県内で生産されたスギ材を主に使用し、また、内装材として、来庁者が利用する受付窓口の腰壁に、県産スギ材の壁材を使用した。

◆整備にあたり工夫したこと

一般的な事務所建築であることに配慮しつつ、構造材などにできる限り、県産スギ材を使用し、地域住民から親しみやすい施設づくりとしている。

R －11	南魚沼警察署

所 在 地	南魚沼市
事業主体	新潟県
構　　造	鉄筋コンクリート造
延床面積	３，７３５㎡
竣工年月	令和６年９月

木材利用量	０．４m3
うち県産材	０．４m3
使用樹種	県産スギ
活用事業	－
設　　計	株式会社堤建築設計事務所
施　　工	加賀田・井口・森下特定共同企業体

◆施設の概要

旧警察署の狭隘化、老朽化に伴い、移転建て替えを行ったもので、地域の安心、安全の拠点として利用できること目的とし、快適な勤務環境を確保できるよう配慮した施設。

◆県産材・県産品利用について

建物本体は、規模及び施設用途上、耐火性の確保が求められることから、鉄筋コンクリート造として整備し、内装材として、来庁者が利用する受付窓口の腰壁などに、県産スギ材の壁材を使用した。

◆整備にあたり工夫したこと

特殊な施設であることから木造化できないことを受け、来庁者が利用する受付窓口にできる限り、県産スギ材を使用し、地域住民から親しみやすい施設づくりとしている。

R －12　南魚沼警察署浦佐交番

所 在 地	新潟県南魚沼市浦佐
事業主体	新潟県
構　　造	木造２階建て
延床面積	８３㎡
竣工年月	令和８年１月

木材利用量	１８．８㎥
うち県産材	１３．７㎥
使用樹種	県産スギ（南魚沼市、湯沢町産）
活用事業	－
設　　計	有限会社阿部設計事務所
施　　工	株式会社島田組

外観

内装

◆施設の概要

JR浦佐駅の近くの既存鉄筋コンクリート造の交番を解体し、現在地建て替えにより木造化して整備したもの。地域の安心、安全の拠点として利用できることを目的とし、快適な勤務環境を確保できるよう配慮した施設。

◆県産材・県産品利用について

木造在来軸組工法とし、構造材には一般流通材の県内で生産されたスギ材を主に使用し、また、内装材として、来庁者が利用する受付窓口の腰壁に、県産スギ材の壁材を使用した。

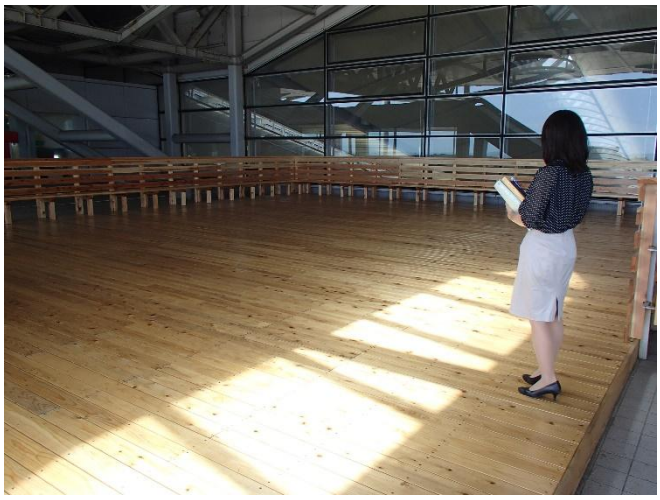
◆整備にあたり工夫したこと

南魚沼市は豪雪地帯であるため、屋根に融雪装置を設置し、積雪による加重を低減することで、構造材などに一般流通材の県産スギ材を使用した、地域住民から親しみやすい施設づくりとしている。

Ｓ－１　新潟空港旅客ターミナル　屋上送迎デッキ

所 在 地	新潟県新潟市東区松浜町
事業主体	新潟空港ビルディング㈱
構　　造	木製外構
延床面積	122m2
竣工年度	平成29年度

木材利用量	12.2m3
うち県産材	12.2m3
使用樹種	県産スギ
設　　計	村上市森林組合
施　　工	グリーン産業㈱、村上市森林組合



◆施設の概要

新潟空港館内の見学等来場者、遠足や施設見学で訪れた幼稚園児や小学生など、多くの人に木の持つ温もりを感じてもらえる休憩スペースとして木製デッキ及び木製のベンチとフェンスを設置した。

◆工法等の特徴

木材は全て県産材を使用した。屋根のある空間への設置であるが、耐久性を考慮してデッキ床板にはAAC加圧注入による防腐処理を施しているほか、ベンチ、フェンスともに保護塗料を2回塗りとした。

◆整備にあたり工夫したこと

既存の床面との段差にはスロープを設置し、利用しやすさと安全に配慮した。

◆利用者の声

「空港屋上でゆっくりくつろげるスペースがあり、休日に子供と飛行機を見に行っている。」

「木のぬくもりがよい感じです。」

Ｓ－２　上越市雪中貯蔵施設ユキノハコ

所 在 地	新潟県上越市安塚区樽田
事業主体	上越市
構　　造	木造２階建て
延床面積	432.3m2
竣工年月	令和２年３月

木材利用量	93.4m3
うち県産材	88.3m3
使用樹種	県産スギ等
設　　計	海法圭建築設計事務所
施　　工	サトウ産業

外観

雁木の回廊・パネル展示

◆施設の概要

雪中貯蔵の効果を活かし、米を始めとした農産物の高付加価値化・ブランド化による農業所得の向上を図るとともに、交流人口の拡大による賑わいの創出と地域の活性化を図るため、雪を活かす知恵や歴史・文化などを学びながら、施設内を見学できる観光対応型の施設として整備した。

◆県産材・県産品利用について

柱、梁の構造材や外壁、木製建具など、使用する木材のほとんどを県産スギとし、木目の風合いを活かした趣きのある回廊を創出するとともに、外壁を県産スギとすることで周囲の景観と調和する外観とした。

◆整備にあたり工夫したこと

木造によるコンパクトな施設整備の手法をモデルとして発信することで、民間事業者が独自に雪室を整備する意欲を喚起・醸成する。

Ｓ－３　新町木造雁木づくりアーケード

所 在 地	新潟県加茂市新町一丁目・二丁目地内
事業主体	加茂市
構　　造	木造一部鉄骨造
延床面積	1,121m2
竣工年月	令和5年3月

木材利用量	130m3
うち県産材	98m3
使用樹種	県産スギ等
活用事業	都市再生整備計画事業
設　　計	草野建築設計事務所
施　　工	㈱永井仁助商店

◆施設の概要

加茂市には、都市計画道路宮寄上加茂線をメイン通りとする商店街があるが、新たな市街地の形成や大型小売店舗の進出によりかつてはその機能を失いかけていた。そのため中心市街地としての機能回復や商店街の活性化のために商店街近代化事業に取り組んできた。新町街区では街路拡幅事業に併せて木造雁木づくりアーケード建設を行い、北越の小京都加茂の風情となる街並みの形成や商店街の活性化につながっている。

◆県産材・県産品利用について

構造材の柱、また母屋や垂木に県産杉を使用した。

◆整備にあたり工夫したこと

小京都加茂市の歴史と文化を活かしたまちをコンセプトとし、木造の雁木風アーケードの実現に向けて様々な検討を重ねた。アーケード設置基準による不燃材料の規定を満たすため、主要構造材は不燃天然木を使用し、屋根はガルバリウム鋼板和瓦型とし、質感や景観にこだわった。また県道拡幅事業に併せて電線や電話線はすべて歩道に埋設し無電柱化することで景観向上、安全快適なまちづくりを推進した。

Ｓ－４　消防団根知分団拠点化格納庫

所 在 地	糸魚川市大字根小屋
事業主体	糸魚川市
構　　造	木造平屋建
延床面積	115m2
竣工年月	令和４年７月

木材利用量	14.6m3
うち県産材	14.6m3
使用樹種	県産杉一等
活用事業	-
設　　計	糸魚川市都市政策課
施　　工	㈱小田島建設

◆施設の概要

積載車２台を格納し、拠点化することにより災害発生時に消防団員が迅速に参集、出動できるよう消防団員数の減少に対応した拠点化格納庫を整備した。

◆県産材・県産品利用について

柱や梁、間柱など、県産杉を利用し、なるべく地元の材料を使用するように配慮した。

◆整備にあたり工夫したこと

前面道路からの乗り入れについて、現況の敷地と道路のﾚﾍﾞﾙに違いが合ったので、緩やかな勾配となるように工夫した。

細長い敷地であったので、車両や徒歩による建物までの動線計画が交錯しないように工夫した。

Ｓ－５　加治川有機資源センター倉庫兼ペレット製造棟及び見学者トイレ

所 在 地	新潟県新発田市金塚2527番地
事業主体	新発田市
構　　造	木造平屋建て
延床面積	510㎡
竣工年月	令和６年３月

木材利用量	145.8㎥
うち県産材	144.1㎥
使用樹種	新発田市産スギ
活用事業	－
設　　計	（株）田代設計、太陽設計（株）
施　　工	（株）伊藤組 マルタケ工務店（株）

倉庫兼ペレット製造棟（480㎡）
構造、内装、外装すべての材（139.9㎥）が市産材

見学者トイレ（30㎡）
構造材の一部、内装、外装（4.2㎥）が市産材

◆施設の概要

平成17年度に開設した市内3か所の有機資源センターのうち、老朽化の著しかった加治川有機資源センターの大規模改修工事を、過疎債により令和5年度に実施した。改修工事にあわせ、施設の機能強化のため、有機資源センター産堆肥をペレット状に加工する施設、有機資源センターを観光資源として活用するための見学順路及び見学者用トイレを設置した。

◆県産材・県産品利用について

倉庫兼ペレット製造棟について、堆肥から発生するアンモニアによって鉄骨の腐食が早まると見込まれたため、機能面から木造案が検討されていたところ、有機資源センターの観光資源化を図ることとなり、施設と地域のイメージアップのため、市産材を活用することとなった。

◆整備にあたり工夫したこと

設計者、伐採業者、製材所及び木材の加工所の間に協力体制を設けたことにより、市産材の活用が可能となった。倉庫兼ペレット製造棟の強度を確保するための袖壁が、施設利用面での支障となることもあるが、見学者を内部に案内し、市産材による施設であることを積極的にアピールしている。

Ｓ－６　新潟県猟友会ライフル射撃場

所 在 地	新潟市西蒲区福井地内
事業主体	一般社団法人新潟県猟友会
構　　造	RC造
延床面積	104.50㎡（建屋）
竣工年月	令和６年３月

木材利用量	19.08㎥
うち県産材	18.08㎥
使用樹種	県産杉材
活用事業	鳥獣被害防止総合対策交付金（農林水産省）
設　　計	株式会社中央グループ
施　　工	株式会社水倉組

上空から撮影

建屋内

◆施設の概要

国交付金の活用に必要となる協議会を県・県内全市町村・一般社団法人新潟県猟友会を会員として設置し、一般社団法人新潟県猟友会が整備主体となり、ツキノワグマをはじめとした大型獣の捕獲に有効なライフル銃の練習等を行う射撃場を整備した。

◆県産材・県産品利用について

跳弾を防ぐため、射座から射撃方向の天井及び側壁を木材で覆うことが求められていることから、木材に県産材を利用した。

◆整備にあたり工夫したこと

県産材の利用に努めた。

S－7　上越斎場

所 在 地	新潟県上越市大字居多
事業主体	上越市
構　　造	RC造・一部S造
延床面積	2439m2
竣工年月	令和6年10月

木材利用量	14.06m3
うち県産材	14.06m3
使用樹種	スギ
活用事業	－
設　　計	高館グループ
施　　工	高館グループ

外観

車寄せ

積み木

◆施設の概要
　老朽化による施設の更新にあわせ、今後の火葬需要に対応するため、新上越斎場を整備した。

◆県産材・県産品利用について
　地域産の杉を活用し、雁木通りをイメージした車寄せや待合室のちゃぶ台、スツール等に利用している。また、キッズコーナーには、地域産材の杉を使用した積み木がある。

◆整備にあたり工夫したこと
　車寄せは雁木造りをイメージした形にし、その軒裏に地域産の杉材を使うなど、上越市らしい施設が完成した。

Ｓ－８　新五郎町住宅８・９号棟

所 在 地	新潟県佐渡市相川新五郎町
事業主体	佐渡市
構　　造	木造１階建て
延床面積	83.39㎡
竣工年月	令和７年３月

木材利用量	0.68㎥
うち県産材	0.68㎥
使用樹種	県産スギ・県産マツ
活用事業	R6 国宝重要文化財等保存・活用事業
設　　計	㈱グリーンシグマ
施　　工	㈱近藤組

外観

内装

◆施設の概要

昭和期に佐渡鉱山が建てた社宅の一つで、2家族が居住できる長屋形式の建物となっている。当時の間取りや生活の痕跡がよく残っており、鉱山の職員や労働者の生活を伝える歴史的な建物として、建物内を見学できる施設として整備した。

◆県産材・県産品利用について

可能な限り既存部材を再利用し、補修が必要な箇所のみ県産材を用いることで、周囲との調和を図ることに留意した。

◆整備にあたり工夫したこと

重要文化的景観「佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観」の重要な構成要素に位置付けられており、歴史的価値を損なわないよう、劣化損傷している箇所の現状復旧を基本とし、アルミサッシや樹脂製防虫網など明らかに後世に追加された材料については撤去し、木製建具等の新設を行った。

内部修理についても、近年まで居住者が暮らしていた様子を伝えるよう、衛生器具並びに照明器具等はそのまま保存し、往時の建物の室内衣装を見せる空間として整備した。

S－9　旧深見家住宅

所 在 地	新潟県佐渡市中京町
事業主体	佐渡市
構　　造	木造１階建て
延床面積	82.0㎡
竣工年月	令和７年３月

木材利用量	6.51㎥
うち県産材	6.51㎥
使用樹種	県産スギ・県産マツ
活用事業	R6都市再生整備計画事業
設　　計	新潟県建築設計共同組合
施　　工	㈱近藤組

外観

トオリドマ

◆施設の概要

相川上町地区に所在し、ウナギの寝床とよばれる細長い敷地と、通りに面して建物が建ち、背後に庭をもつつくりとなっている。明治時代に建てられたと考えられる建物は、かつて鉱山で働く人も居住しており、生活スタイルに合わせて間取りが変更された。 歴史的建造物の内部を公開し、歴史や文化を学べるまち歩きの拠点施設として利用するとともに、交流人口の拡大を図ることを目的として整備した。

◆県産材・県産品利用について

可能な限り既存部材を再利用し、補修が必要な箇所のみ県産材を用いることで、周囲との調和を図ることに留意した。

◆整備にあたり工夫したこと

相川地区によくみられる出の短い庇が付く板張りの外観、表から裏へ延びる通り土間、その土間に沿って居室や座敷が並ぶ間取りなどの形式がよく残っている。

明治時代中期頃と推定される建築当初から昭和20年代後半の鉱山大縮小期に至るまで、何度か改築が行われており、その履歴を尊重しつつも、鉱山町の住宅として活況に満ちていた昭和初期～昭和20年代頃を保存修理の設定年代とした。

Ｓ－10　八色の森公園　ベルハウス（東屋）

所 在 地	新潟県南魚沼市浦佐
事業主体	新潟県
構　　造	木造1階建て
延床面積	35.05㎡
竣工年月	令和7年12月

木材利用量	5.75㎥
うち県産材	3.22㎥
使用樹種	県産スギ等
活用事業	－
設　　計	ＡＲＣＨＩ ＷＩＤＥ
施　　工	桐生工業㈱

外観

内観

◆施設の概要

奥只見レクリエーション都市公園「八色の森公園」の東屋は、公園利用者の休憩施設として長年利用されてきたが、経年劣化による老朽化が進んでいたことから、安全性や快適性の向上を目的として更新した。散策やレクリエーションの合間に気軽に利用できる休憩施設として整備し、公園利用者の憩いの場として活用されている。

◆県産材・県産品利用について

本東屋は、公園の自然環境と調和した景観形成を目的として、主柱、外周柱、母屋、隅木等の構造体に県産スギを採用した。主要構造部に地域材を使用することで木質感を活かした親しみやすい休憩空間を創出するとともに、地域材の地産地消による環境負荷低減、県内林業・木材産業の振興および森林資源の循環利用に貢献している。

◆整備にあたり工夫したこと

木材を使用することで、公園の自然環境と調和した親しみやすい憩いの空間を創出した。

S －11　柏崎市　米山ハイキングベース

所 在 地	新潟県柏崎市大字大平
事業主体	柏崎市
構　　造	木造2階建て
延床面積	134.2㎡
竣工年月	令和8年3月

木材利用量	41.8㎥
うち県産材	13.4㎥
使用樹種	県産スギ
活用事業	－
設　　計	株式会社ナルサワコンサルタント
施　　工	株式会社中澤組

外観

県産材をふんだんに使った内装

◆施設の概要
米山登山道大平口の休憩施設であり、更衣室、トイレ、休憩所、駐車場を有する施設。
登山やハイキング利用者の休憩所として観光振興や地域の拠点として期待するもの。

◆県産材・県産品利用について
県産材を内装にふんだんに利用することで、見た目はもちろん木の香りを感じることができる温かみのある空間とした。

◆整備にあたり工夫したこと
木材使用のパネルを内装に貼り付けることで、市外県外の観光客に県産材をPRすることができる。
内装を木を感じることができるよう本来の色味とした。